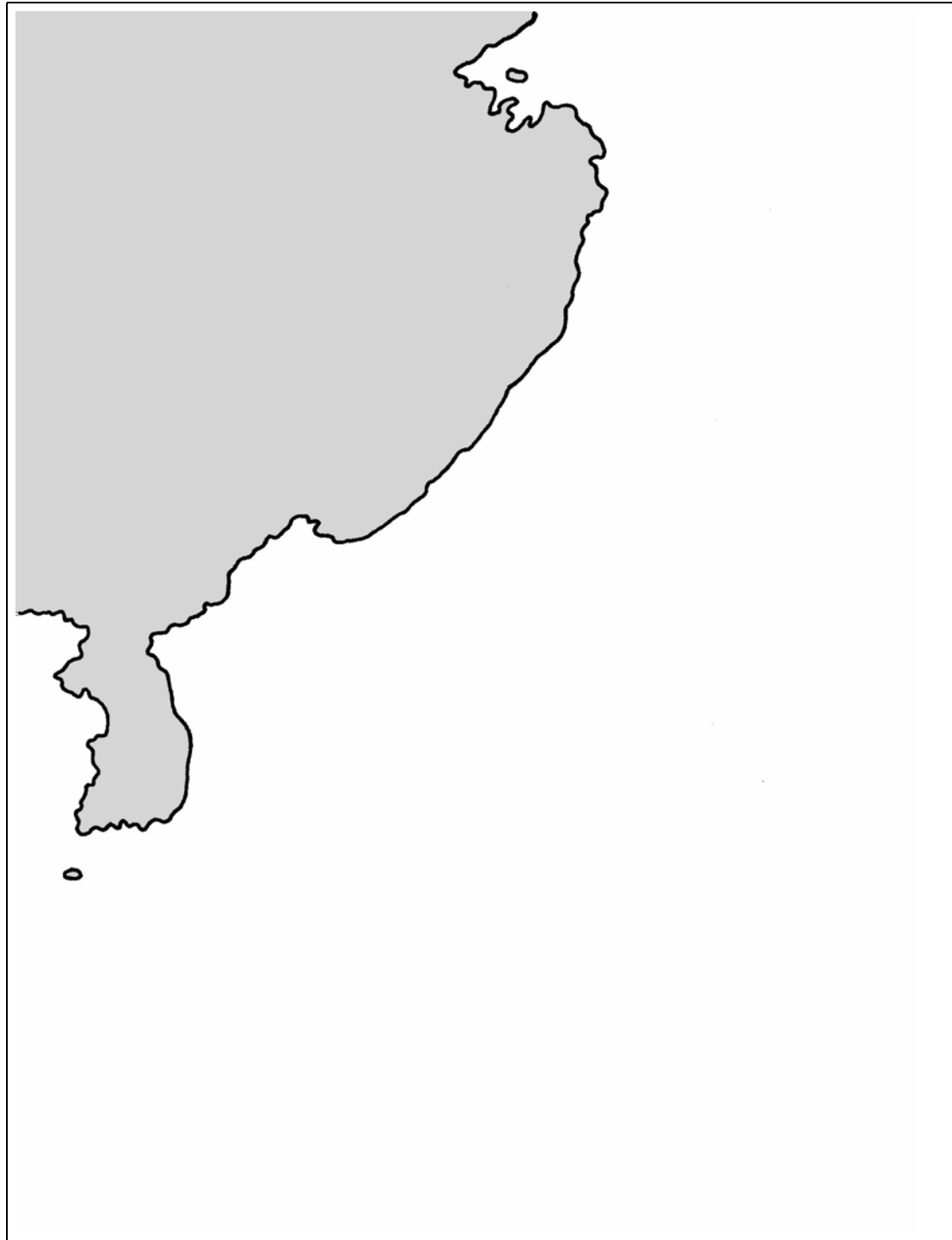


# 日本列島の誕生

## 課題レポート1

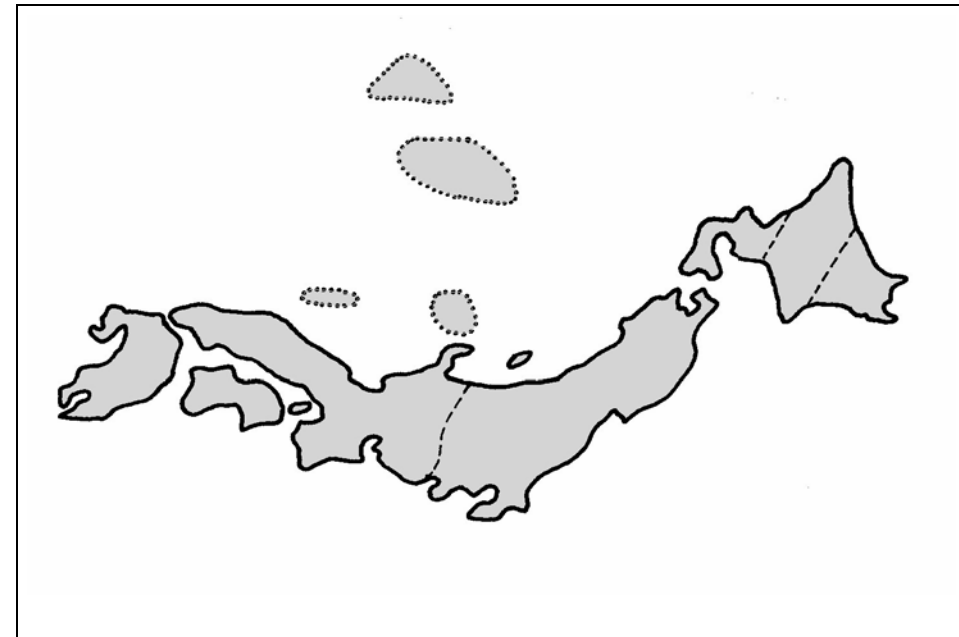
学域	学類	学年	学籍番号	氏名



今から3千万年ほど前の日本列島はユーラシア大陸東縁の一部であったが、その後の日本海の拡大形成によって大陸から切り放され現在の位置に至ったとされる。したがって、日本列島の海岸線は現在のユーラシア大陸東岸のある部分と輪郭が一致することになる。

では、本ページの日本列島を切り取り、大陸の海岸線と一致するように左側ページに貼り付けて、3千万年前の日本列島の位置を復元せよ。なお、本レポート作成にあたっては以下の点に留意すること。

1. 大陸の一部であったころの日本列島の正確な位置については結論はまだ得られていない。したがって参考書類はなるべく見ないようにすること。独創的な考えを歓迎するが、あくまでもプレート・テクトニクス の範囲内で考えること。
2. 本ページの日本列島の図中、破線は代表的な構造線(地層などの大きな境界:本州中央の1本、北海道の2本)を意味する。したがって、これらの線で日本列島を切断してもかまわない。
3. 同じく、本ページ中の日本海の中に点線で描かれたものは、日本海の拡大過程で日本海の中に取り残された大陸の一部であることを意味する。したがって、これらは復元作業過程では大陸の一部として扱う(切り取ってどこかの隙間にはめ込むことができる)。
4. 北海道の西部と本州は切りはなしてはならない。また、四国と本州も切りはなしてはならない。九州は切り離してもよいが、北九州市と下関市は接したままとする(九州は北九州市を中心に回転させてもよい)。
5. 提出にあたっては、本紙中央の波線で切りはなし、氏名がある側のみ提出すること。



提出(平成25年12月12日の講義前にE10教室で)